

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公開番号】特開2017-18186(P2017-18186A)

【公開日】平成29年1月26日 (2017.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2017-004

【出願番号】特願2015-136548(P2015-136548)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月27日 (2018.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の遊技が行われる遊技領域と、

正面視において該遊技領域の下方で前方へ膨出し、所定の内部空間が形成された膨出部と、

前記膨出部の上面側に設けられ、前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、

前記内部空間に収容され、遊技者が操作可能な操作装置と、

所定高さの周壁を有し、前記上皿から遊技媒体が流入可能な下皿と

を備え、

前記膨出部における前記内部空間と左右方向に並設される空間に、前記下皿が設けられ

、

前記下皿は、遊技者が遊技媒体を前方から取り出せる領域となる第 1 下皿部と、前記第 1 下皿部から前記内部空間内の前記操作装置側に窪むように前記第 1 下皿部と一体的に設けられた第 2 下皿部と、を有するものであり、

さらに、前記内部空間を境として前記下皿が設けられる側の反対側には、遊技媒体を発射するためのハンドル部が設けられており、

前記膨出部は、前記ハンドル部の最前部分よりも当該遊技機の前方に突出するように設けられ、

さらに、前記第 1 下皿部と前記第 2 下皿部は、遊技媒体貯留領域の面積が異なるものである

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

所定の遊技が行われる遊技領域と、

正面視において該遊技領域の下方で前方へ膨出し、所定の内部空間が形成された膨出部と、

前記膨出部の上面側に設けられ、前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、

前記内部空間に収容され、所定の演出効果を奏する演出装置と、

所定高さの周壁を有し、前記上皿から遊技媒体が流入可能な下皿とを備え、

前記膨出部における前記内部空間と左右方向に並設される空間に、前記下皿が設けられ、

、

前記下皿は、遊技者が遊技媒体を前方から取り出せる領域となる第１下皿部と、前記第１下皿部から前記内部空間内の前記演出装置側に窪むように前記第１下皿部と一体的に設けられた第２下皿部と、を有するものであり、

さらに、前記内部空間を境として前記下皿が設けられる側の反対側には、遊技媒体を発射するためのハンドル部が設けられており、

前記膨出部は、前記ハンドル部の最前部分よりも当該遊技機の前方に突出するように設けられ、

さらに、前記第１下皿部と前記第２下皿部は、遊技媒体貯留領域の面積が異なるものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

従来の遊技機として、正面視における遊技領域の下方に、遊技領域内に打込むための遊技媒体が貯留される上皿と、上皿の下側に配置され上皿から溢れた遊技媒体が貯留される下皿とを備えているものが一般である（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

しかしながら、従来の遊技機では、遊技者に対する訴求力が低かった。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

【特許文献１】特開２００９－２８３９０号公報

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、遊技者に対する訴求力の高い遊技機の提供を課題とする。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、所定の遊技が行われる遊技領域と、正面視において該遊技領域の下方で前方へ膨出し、所定の内部空間が形成された膨出部と、前記膨出部の上面側に設けられ、前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、前記内部空間に収容され、遊技者が操作可能な操作装置と、所定高さの周壁を有し、前記上皿から遊技媒体が流入可能な下皿とを備え、前記膨出部における前記内部空間と左右方向に並設される空間に、前記下皿が設けられ、前記下皿は、遊技者が遊技媒体を前方から取り出せる領域となる第1下皿部と、前記第1下皿部から前記内部空間内の前記操作装置側に窪むように前記第1下皿部と一体的に設けられた第2下皿部と、を有するものであり、さらに、前記内部空間を境として前記下皿が設けられる側の反対側には、遊技媒体を発射するためのハンドル部が設けられており、前記膨出部は、前記ハンドル部の最前部分よりも当該遊技機の前方に突出するように設けられ、さらに、前記第1下皿部と前記第2下皿部は、遊技媒体貯留領域の面積が異なるものであることを特徴とする。また、所定の遊技が行われる遊技領域と、正面視において該遊技領域の下方で前方へ膨出し、所定の内部空間が形成された膨出部と、前記膨出部の上面側に設けられ、前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、前記内部空間に収容され、所定の演出効果を奏する演出装置と、所定高さの周壁を有し、前記上皿から遊技媒体が流入可能な下皿とを備え、前記膨出部における前記内部空間と左右方向に並設される空間に、前記下皿が設けられ、前記下皿は、遊技者が遊技媒体を前方から取り出せる領域となる第1下皿部と、前記第1下皿部から前記内部空間内の前記演出装置側に窪むように前記第1下皿部と一体的に設けられた第2下皿部と、を有するものであり、さらに、前記内部空間を境として前記下皿が設けられる側の反対側には、遊技媒体を発射するためのハンドル部が設けられており、前記膨出部は、前記ハンドル部の最前部分よりも当該遊技機の前方に突出するように設けられ、さらに、前記第1下皿部と前記第2下皿部は、遊技媒体貯留領域の面積が異なるものであることを特徴とする。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

このように、本発明によれば、訴求力の高い遊技機を提供することができる。